

お客様のワークフローを革新するソリューションを

世界有数の複合機 (MFP: Multi-functional Peripherals) メーカーとして、高性能・高品質な製品を世界中のオフィスに提供してきたコニカミノルタ。近年は、産業・社会のデジタル・ネットワーク化を踏まえ、多様な製品群と、高度なICTサービスとの組み合わせによって、お客様のオフィス環境をトータルに最適化するソリューションを提供しています。



Multi-functional Peripherals

世界トップクラスのカラー複合機

コピーやプリンター、スキャナー、FAXなど、多様な機能を兼ね備えた複合機は、現代のビジネスシーンに欠かせない存在です。コニカミノルタの複合機「bizhub (ビズハブ)」シリーズは、“businessのHub (中心・中核)”という名の通り、世界中のオフィスで、お客様のビジネスの質と効率を高めています。なかでも、いち早く注力してきたカラー機分野では、独自開発のカラートナーによる美しい出力と幅広い製品ラインアップで、市場の信頼を獲得。現在、オフィス用A3カラー複合機は、海外市場でトップレベルのシェアを確立しています。

Services

ワークスタイルの変化に柔軟に対応

ITの進化やグローバル化などによってワークスタイルが大きく変化するなか、コニカミノルタは、複合機とモバイル端末やクラウドサービス「INFO-Palette Cloud」を組み合わせたソリューションを提供するなど、ワークスタイルの変化に応じた多様なサービスを提案しています。さらに、オフィスの出力環境を最適化する「Optimized Print Services (OPS)」や、多様なコンテンツを統合管理する「Managed Content Services (MCS)」、ITインフラの構築・運用などを通じて、お客様のデジタルワークフローに入り込んだソリューションを提案し、ビジネスの効率化・合理化、生産性向上をサポートしています。

Global Major Account

グローバル企業のビジネスを強力にサポート

オフィス環境の最適化によって得られる効率化・コストの改善効果は、オフィス規模に比例して大きくなるもの。世界各地に多くの拠点を構えるグローバル企業であれば、その効果は計りしれないものがあります。コニカミノルタは、これらグローバル企業のニーズに積極的にお応えするため、世界約150カ国にわたるセールス/サービス体制のもと、「GMA (Global Major Account) ビジネス」を展開。グローバルな視点に立ったソリューション提案を通じて、企業全体での業務効率化やコスト削減に貢献するとともに、社会全体でのムダを省き、エネルギーや資源の消費削減にも貢献しています。



経営課題の解決に貢献する、 コニカミノルタのワークフローサービス

Case 1 国際物流企業の出力環境をグローバルに見直し

課題

ドキュメント管理の効率化とセキュリティー強化

物流業務では、一般的な事務書類に加えて、輸送貨物ごとに船積書類を作成・出力します。この書類は、輸送貨物を確実に輸送するためのもので、輸送代金の決済にも使われます。

ある国際物流企業グループでは、これらの膨大な書類を各拠点がそれぞれ作成・出力していましたが、そのための労力やコストに加えて、管理面、セキュリティー面でさまざまな課題を抱えていました。



ソリューション

プリント環境の見直しで課題をクリア

コニカミノルタは、この企業グループに対し、プリント環境最適化ソリューション「Optimized Print Services (OPS)」を活用して、全拠点をカバーするソリューションを提案しました。

まず実施したのが、各拠点のオフィスにおける出力機器の置き換えです。出力機器を最先端の複合機に集約し、台数を約半分にすることで、印刷効率を向上させるとともに、消費電力やメンテナンスの手間を削減しました。

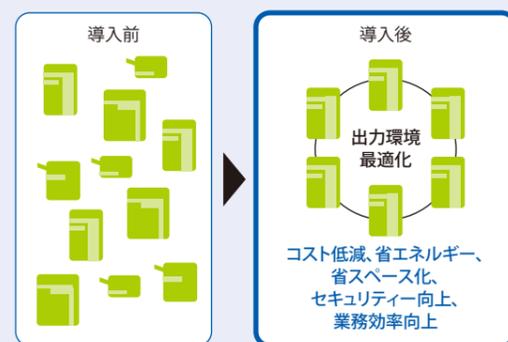
また、複合機への一括置き換えにより、IDカードによるプリント認証の導入が可能となり、書類の取り忘れなどによる情報漏えいを防ぎ、セキュリティーが強化されました。IDカード利用の情報を管理・分析することで、ムダな出力の抑制にもつなげています。

ドキュメント・フォームも全拠点で統一され、それらを複合機でスキャンして統括オフィスのサーバーに集約することで、グローバルな情報共有を促進し、業務全体の効率化にも貢献しています。

オフィスのプリント環境を最適化する「Optimized Print Services (OPS)」

コニカミノルタは、出力機器の運用を一括受託し、ネットワークによる集中管理を通じて最適配置や稼働率の向上などを実現する、プリント環境最適化ソリューション「Optimized Print Services (OPS)」を、全世界統一のサービスとして提供しています。

OPSは、お客様ごとのご要望や課題を踏まえた「コンサルティング」、最適な出力機器の導入から定着までを支える「実行」、そして出力機器の利用状況をモニタリングしながら、新たな課題を見出す「マネジメント」というサイクルを通じて、継続的な改善を実現します。



Case 2 不動産管理業における資料管理をスピーディーに

課題

膨大な物件データ・契約書管理の効率化

不動産管理業では、物件ごとに契約書、間取り図、物件写真といった多様な資料を取り扱います。

不動産会社では、物件の紹介から契約、その後の管理から解約に至る業務プロセスにおいて、これらの資料をシステム上で一元管理していますが、個別資料から必要な情報を手入力するのに膨大な時間とコストがかかっており、いかに効率化することが課題となっています。



ソリューション

データベース化による業務フロー改革を実現

コニカミノルタは、このような課題を抱える不動産会社に対し、コンテンツ管理を効率化する「Managed Content Services (MCS)」によるソリューションを提案しています。

例えば、複合機で紙書類をスキャンする際に「ゾーンOCR※」を利用すれば、書類内の契約番号や物件の住所などを自動的に抽出して読み取ってくれるため、作業者は正しいかどうかの確認作業を行うだけでデータベース化できます。これにより、従来のような紙を見ながらの手入力が不要になり、業務スピードが大幅に向上します。

さらに、データベースには文字データだけでなく、間取り図や地図、写真などの画像データも紐づけることができ、情報の確認・更新・追加、書類作成・出力など、一連の業務がネットワーク上で可能になります。これにより、契約更新時期に当たる物件だけを抽出して、自動で更新契約書類を作成したり、顧客の希望する間取りの物件だけをまとめて資料化したりと、さまざまな場面で効率的な業務フローの実現をサポートします。

※OCR(Optical Character Reader)：印刷された文字を光学的に読み取り、自動的にデータ化する仕組み

多種多様なコンテンツの有効活用を実現する「Managed Content Services (MCS)」

コニカミノルタは、企業に蓄積され続けるコンテンツの有効活用という課題を解決するサービスとして、「Managed Content Services (MCS)」をグローバルに展開しています。MCSは、コンサルティングに基づく改善提案と、コンテンツ管理のための専用ソフトウェア、データの入出力を担う複合機および紙文書の電子化サービスを、お客様にワンストップで提供。多様かつ膨大なコンテンツを電子データとして一元管理し、より効率的な活用を可能にすることで、お客様の業務効率向上はもちろん、コスト削減や環境負荷低減、さらにはセキュリティーや事業継続性の強化にも貢献します。

